

生活文化産業学

(第 1・3 木曜日 午後 14 時～／成徳学舎)

2011 年度後期 第 6 回 ケーススタディ 4／就職の現場から考える人財育成

担当:藤井 哲也、大倉 朗寛

～講義の流れ～

1. 株式会社パシオ 代表取締役 藤井哲也さん (大津市議会議員) による講義
(14:00～／60分)
2. 就職の現場における人財育成について (15:00～／20分)
3. 生活文化産業における人財育成について (15:20～／20分)
4. 【情報共有】人材育成、就職、雇用、離職 (15:40～／10分)
5. ディスカッション、まとめ (15:50～／10分)

～内容～

1. 株式会社パシオ 代表取締役 藤井哲也さん (大津市議会議員) による講義
(14:00～／60分)
※内容は 4 ページ目を参照してください。
2. 就職の現場における人財育成について (15:00～／20分)
 - ・ 3つの視点から就職の現場について理解する
 1. 就職者＝インターネットなどを使って自分に適した仕事や企業を見つけたい
 2. 採用者＝できるだけ早い時期に、できるだけ優秀な人財を獲得したい
 3. 支援者＝採用ミスマッチを防止し、早期離職を予防するよう両者を支援したい
 - ・ 新卒採用と中途採用の役割分担について理解する
 1. 新卒採用－高卒 (10代)
 2. 新卒採用－大卒 (20代前半)
 3. 新卒採用－院卒 (20代後半)
 4. 中途採用－若年層 (25～34歳)
 5. 中途採用－中年層 (35～44歳)
 6. 中途採用－高齢層 (45～54歳)
 7. 中途採用－超高齢層 (55歳以上)

3. 生活文化産業における人財育成について（15：20～／20分）

この10年間で、創造的人材（自発的に色々と考えて自ら判断し、その判断に自ら責任を負って行動できる人材）が、早期退職優遇制度などを利用したり、全国各地にある起業支援施設を利用したりして、大企業から流出していった。その結果、大企業は、売上や経費という数字合わせをすることを最優先と思考し、活動する事業体となり、韓国や、中国をはじめとする新興国へ技術をいとも簡単に流出させ、それらの台頭を許した。

大企業は、雇用の受け皿として今後も役割を果たしてゆくと思われているかもしれないが、その受け皿は、赤字決算を出す度に大企業間の合併などで徐々に縮小されてゆく状況となるのが容易に想像できる。

では、我が国の活力の源泉を、どこに求めればよいのだろうか。引き続き、大企業に依存すればよいのだろうか。それとも中小企業、あるいは起業家（学生ベンチャー型と脱サラ型は企業内の業務経験の有無という点で大きな差異がある）であろうか。私は、そのいずれでもないという確信に至り、その検証をさらに進めてゆくために、池上惇先生の門戸を2008年12月に叩いた。

それから、もう3年経ったが、その確信はさらに増し、現実化してきている。大企業を離脱した人をはじめ、ゼロから創造的活動ができる人材が、それぞれの立場を超えて議論ができ、それぞれに置かれた立場を学び合いながら、また、それぞれの立場に立って活動できるネットワークを形成し、大企業の事業活動のように、大きな方向性を打ち出してゆくことができれば、それが我が国の活力の源泉になりうると考えた。

そのことを目指して、私が応援させて頂いている方々は、様々な形態や規模で活動されているが、その中で、市民大学院は極めて重要であり、かつ革新的であると考えている。その場を介して、異なる立場や考え方の人同志が相互に交流し、学び合うことによって、より大きなイノベーション（革新）がクリエイト（創造）されることになると考えている。その上で、さらに2012年は、特に国内に生産の場づくりを推進してゆきたいと考えている。ただ、物的な生産を推進してゆくためには、知的生産と異なり、エネルギーと資源（特に価値を付加するために地域資源が重要）が必要となる。そして、それらを効率よくローコストで安定的に調達できるかが重要となる。それらが実現できたとき、我が国は、また活力を取り戻すことができると確信する。

ただ、この活動を推進する上で、我が国の既存組織が実は抵抗勢力であったりする場合もあると思われる。市民一人ひとりが健全であっても、グループになれば、なぜか方向性を見誤ってしまいがちなのが、日本人のよくない特性かもしれない。

したがって、それらの点についてうまくお互いに配慮しながら、地道に草の根活動的に進めてゆくことができれば、人財育成モデルの一つとなり得ると考えられる。特に、就職した後、社外とのネットワーク形成が社内競争を勝ち抜く重要な方法の一つとなる。また、「グローバル人材」という表現はもう時代遅れかもしれない。いま本当に求められているのは、ゼロから何か新しい価値を創出できる力量をもった創造的人財である。

4. 【情報共有】人材育成、就職、雇用、離職（15：40～／10分）

- ・ [生活文化産業学 | 市民大学院（文化政策・まちづくり大学校）](http://bunka-seisaku.org/sbsg2011.html)
<http://bunka-seisaku.org/sbsg2011.html>

5. ディスカッション、まとめ（15：50～／10分）